

## ＜大会プログラム＞

### 一般研究発表

<p>14A1 &lt;スポーツと地域&gt; <u>水上博司 氏</u></p> <p>1. 伊藤 葵 氏 2. 多田 茂 氏 3. 下窪拓也 氏</p>	<p>14A2 &lt;スポーツと教育&gt; <u>高橋豪仁 氏</u></p> <p>1. 松田恵示 氏 2. 山内朋也 氏 3. 長澤瑞木 氏 4. 尾島 祥 氏</p>	<p>14A3 &lt;スポーツ組織&gt; <u>笠野英弘 氏</u></p> <p>1. 上野浩暉 氏他 2. 中澤篤史 氏他 3. 張 寿山 氏</p>	<p>14A4 &lt;スポーツと身体&gt; <u>中江桂子 氏</u></p> <p>1. 倉島 哲 氏 2. 岡田光弘 氏 3. 本郷正武 氏</p>
<p>15B1 &lt;ラグビーW杯&gt; <u>海老島 均 氏</u></p> <p>1. 松林秀樹 氏 2. 高尾将幸 氏 3. 向山昌利 氏</p>	<p>15B2 &lt;ローカルスポーツ&gt; <u>金 明美 氏</u></p> <p>1. 岡本純也 氏 2. 菅原大志 氏 3. Wai-man Tang 氏</p>	<p>15B3 &lt;障害者スポーツ&gt; <u>吉田 毅 氏</u></p> <p>1. 奥田睦子 氏 2. 檜田美雄 氏 3. 石井 克 氏</p>	<p>15B4 &lt;スポーツとメディア&gt; <u>橋本純一 氏</u></p> <p>1. 小石川聖 氏 2. 時田 瞳 氏 3. 森津千尋 氏</p>
<p>15C1 &lt;ユーススポーツ&gt; <u>中澤篤史 氏</u></p> <p>1. 中島 輝 氏他 2. 魚住智広 氏 3. 三角さやか 氏 4. 田畠大樹 氏</p>	<p>15C2 &lt;スポーツとテクノロジー&gt; <u>岡本純也 氏</u></p> <p>1. 眞鍋隆祐 氏 2. 刑部幸優多 氏 3. 高橋真央 氏</p>	<p>15C3 &lt;スポーツと政治&gt; <u>水野英莉 氏</u></p> <p>1. 清宮孝文 氏 2. 石田智佳 氏 3. 加藤朋之 氏 4. 平石貴士 氏他</p>	

#### <スポーツと地域> 座長：水上博司（日本大学）

14A1-2：伊藤 葵（富山国際大学）

総合型地域スポーツにおける支援体制の在り方と今後の課題

—富山県射水市の総合型地域スポーツクラブの設立と発展における分析—

14A1-3：多田 茂（順天堂大学）

スポーツ活動を通じた健康な自治体の建設は可能か

—南西ドイツのある町を対象とした住民の健康・運動データに基づく 25 年に及ぶ縦断的研究プロジェクト—

14A1-4：下窪拓也（東北大学大学院文学研究科博士後期課程）

2000 年以後のスポーツ参加者の推移と変動

—社会調査データの二次分析を通じて—

<スポーツと教育> 座長：高橋豪仁（奈良教育大学）

- 14A2-1：松田恵示（東京学芸大学）  
不登校の子どもたちと教育支援センターにおけるスポーツ活動
- 14A2-2：山内朋也（東京学芸大学大学院）  
体育授業における「主体性」再考
- 14A2-3：長澤瑞木（東京学芸大学大学院）  
プログラミング教育における身体活動の可能性と課題  
—教育先進国と日本のプログラミング教育比較から—
- 14A2-4：尾島 祥（関西大学大学院人間健康研究科博士課程前期課程）  
小学校体育授業における発達にともなう遊び要素の変化

<スポーツ組織> 座長：笠野英弘（山梨学院大学）

- 14A3-1：上野浩暉（立教大学大学院） 松尾哲矢（立教大学）  
日本スポーツ界における学生連盟の役割変容過程とその要因に関する研究
- 14A3-2：中澤篤史（早稲田大学） 星野 映（早稲田大学）  
戦後の中学校・高校競技大会に関する資料検討  
—『運動年鑑』（1948-1953）および『スポーツ年鑑』（1954-1967）を用いて—
- 14A3-3：張 寿山（明治大学，スフィード世田谷FC）  
スポーツ団体の法人格としての協同組合モデルの検討  
—英国におけるスポーツ団体の法人格を参考にして—

<スポーツと身体> 座長：中江桂子（明治大学）

- 14A4-1：倉島 哲（関西学院大学）  
社会的所与の身体化ではない上達を捉える  
—太極拳推手における集合的創造性—
- 14A4-2：岡田光弘（成城大学・非常勤講師）  
スポーツ・コーチングの親学問としてのビデオ・エスノグラフィー
- 14A4-3：本郷正武（桃山学院大学）  
鉄剤注射にみるエンハンスメントの受容と拒絶

<ラグビーW杯> 座長：海老島 均（成城大学）

- 15B1-1：松林秀樹（平成国際大学）  
釜石市におけるラグビーワールドカップ開催①  
—釜石市・RWC・質問紙調査の概要—
- 15B1-2：高尾将幸（東海大学）  
釜石市におけるラグビーワールドカップ開催②  
—ラグビーに関する経験・記憶に基づく分析—
- 15B1-3：向山昌利（流通経済大学）  
釜石市におけるラグビーワールドカップ開催③  
—住民のラグビーワールドカップ「受容」過程—

<ローカルスポーツ> 座長：金 明美（静岡大学）

- 15B2-1：岡本純也（一橋大学大学院経営管理研究科）  
グローバルに広がる民俗舞踊の創出を支えたシマ社会の文脈  
—沖縄の盆踊り「エイサー」の戦後の普及に着目して—
- 15B2-2：菅原大志（東北大学大学院）  
行為と「潜在的な共同性」  
—混住化地域のローカルスポーツに注目して—
- 15B2-3：Wai-man TANG (The Chinese University of Hong Kong)  
Minortization of an Indian Sport: Kabaddi Development in Japan

<障害者スポーツ> 座長：吉田 毅（桐蔭横浜大学）

- 15B3-1：奥田睦子（京都産業大学）  
健常者の障害者スポーツ体験がもたらす障害者理解の背景に関する一考察
- 15B3-2：檜田美雄（神戸市看護大学）  
障害社会学の立場からの障害者スポーツ研究の試み  
—社会モデルを障害社会的に乗り越える—
- 15B3-3：石井 克（北海道大学大学院博士後期課程） 山崎貴史（北海道大学）  
障がい者スポーツに関する新聞報道の分析  
—用語「アスリート」を例に—

<スポーツとメディア> 座長：橋本純一（信州大学）

- 15B4-1：小石川 聖（早稲田大学大学院）  
連続写真とスポーツ  
—戦後の出版メディアと野球を対象にして—
- 15B4-2：時田 瞳（日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程）  
オリンピック競技大会におけるメディア表象に関する研究  
—2018年第23回オリンピック冬季競技大会（平昌）を事例として—
- 15B4-3：森津千尋（宮崎公立大学）  
平昌五輪はどのように語られたのか  
—日本の新聞3紙の言説分析—

<ユーススポーツ> 座長：中澤篤史（早稲田大学）

- 15C1-1：中島 輝（立教大学大学院） 松尾哲矢（立教大学大学院）  
「自治」からみた運動部活動における自主性・主体性形成に関する研究
- 15C1-2：魚住智広（国際武道大学）  
部活動研究における競争／居場所の論理の再考
- 15C1-3：三角さやか（関西大学大学院人間健康研究科博士課程前期課程）  
子どもをスイミングクラブに通わせる保護者の文化資本の再生産

15C1-4：田嶋大樹（東京学芸大学大学院博士課程）

「二重に読む」ことの社会学  
—放課後児童クラブの運動文化—

＜スポーツとテクノロジー＞ 座長：岡本純也（一橋大学）

15C2-1：眞鍋隆祐（彰栄保育福祉専門学校）

AR技術により実現されるテクノスポーツ「HADO」についての研究

15C2-2：刑部幸優多（東京学芸大学大学院）

VRと「みるスポーツ」の社会的変容

15C2-3：高橋真央（東京学芸大学大学院）

VRと視点移動がもたらすスポーツ行為の学習可能性

＜スポーツと政治＞ 座長：水野英莉（流通科学大学）

15C3-1：清宮孝文（日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程）

依田充代（日本体育大学）

体育系大学生のスポーツボランティアに対する認識

15C3-2：石田智佳（日本女子大学・学術研究員）

オリンピックカヌー競技場建設と葛西臨海公園の開発

—野鳥の会東京支部の実践に着目して—

15C3-3：加藤朋之（山梨大学）

東京高等師範学校フットボール部編「アソシエーションフットボール」が生み出したもの

—我が国のサッカーの伝播における教育ヘゲモニー獲得戦略—

15C3-4：平石貴士（立命館大学） 市井吉興（立命館大学）

ライフスタイルスポーツの「競技化」と「取り込み」をめぐるカルチュラルポリティクス

—パルクール・スポーツ化・商業化—